# ご近所さんとつながる木の家

兵庫県加東市の分譲地に建つ木の家です。周辺集落や近隣との関係性が希薄な分譲地ですが、 ご近所さんと穏やかにつながることで、新たな地域コミュニティが生まれています。









# 建築概要

敷地面積:562.50㎡ (170.15坪) 建築面積:77.01㎡ (23.29坪) 1階床面積:67.90㎡ (20.53坪) 2階床面積:28.56㎡ (8.63坪) 延床面積:96.46㎡ (32.94坪)

認定長期優良住宅

兵庫県産材80%以上使用 断熱性能:等級6(5地域) 一次エネルギー消費量等級6

## 1 分譲区画の顔をつくる

分譲区画の角地に建つ家であるため、区画 全体の風景の基準・顔となる建物を目指し ました。サイディング材やアルミ、スレー ト屋根、庭はガレージしかない隣の区画と 一線を画し、木材や左官といった自然素材 の質感が感じられ、緑豊かな庭を持つ家を 計画しました。

# 2 近隣への余白をつくる

将来的な家庭菜園スペース確保を目的とした 広い敷地に、余裕のある建物の配置が可能で した。土地的に南北に風が抜けるため、南北 にあわせて建物をふり、太陽と風を十分に取 り込めるように計画しました。それにより、 四角形の敷地形状が曖昧になりどの方向にも 開かれた使い方ができるようになりました。

# 3 地元の木を当たり前に

構造材・仕上げ材共に、兵庫県産木材を多用しています。柱・梁を一部現わしとし、無垢フローリングや造作家具材も、ほぼ全面的に兵庫県の杉を採用しています。特別な使い方はしていませんが、視覚的・触感的にも杉のあたたかさを感じることが出来、調湿効果で室内の空気は常に良い状態に保たれています。

#### 敷地の余白

道と平行に建物を配置すると狭い通路 スペースが発生しますが、建物をふる と三角形の余白が生まれます。そこが 近隣の子供の遊び場になったり、畑に なったり、車を気にせずキャッチボー ルが出来る場所となります。自然と近 所の子供達が集まり、住人同士の交流 が生まれる場となります。





#### 南向きを活かす

家族が一番長い時間を過ごすLDKを真南に配置し、大 きな開口部を設けた開放的なつくりとしました。LDK の前に半間の軒を出し、ウッドデッキを設けて外との つながりを作っています。

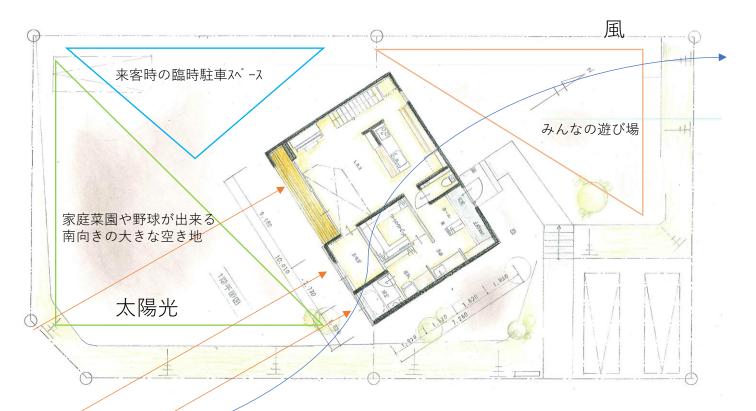




## 浴室の窓から光と風をとりこむ

南向きの浴室に全開口の大きな窓を取り入れることで、浴室換気扇なしで 自然の風と太陽光でカラっと乾く環境をつくりました。

窓から入る光は洗面脱衣室まで届き、明るく風通しのよい水回り空間となっ ています。脱衣室にはあえて建具を設けず、カーテンで必要時のみ仕切るこ とで、空間の一体感を出しています。仕切らないことにより、湿度がこもら ないため空気環境もよくなります。



## 屋根裏のような子供部屋

子供が小さい間は大きなワンルームで のびのび育てることを提案。将来的に、 デスクや本棚等の家具で間仕切ること で、2つの部屋として使用出来るよう にしています。





### 木を植える

里山に自生する 植物を中心に、 花や実など四季 を楽しみながら 住人が手入れが 出来るものを。



## 吹抜の手摺

加東市にある国宝朝光寺。 連子格子を通して本堂に入る 光が本当に美しいと思います。 そんな地元の国宝にあやかり、 45度に角度をふった手摺を提 案しました。吹抜への透け感 を保ちつつ、陰影のある景色 になりました。



機能は平屋に集結

水回りやWICLなど機能部分

を1F平屋に集中させました。

浴室以外は勾配天井とし、仕切

り壁で室を区切ることで、天井

を共有する一つの大きな空間と

すべての日常的な支度は、この

スペース内で整うため、各部屋

に個別収納等を設ける必要がな くなり、家族みんなで使える広

い共有空間を創りました。

しています。